

第6回 ～ 介護老人保健施設の新築編 ～

保健・医療・福祉のネットワークの基盤を作り
住民生活の向上に結びつける大規模建設事業を実現

兵庫県尼崎市 尼崎医療生活協同組合 介護老人保健施設「ひだまりの星」



【施設概要】

入所定員： 95床

併設施設： 診療所「あおぞら生協クリニック」

理事長： 船越 正信

所在地： 〒661-0033 兵庫県尼崎市南武庫之荘1-12-1

尼崎医療生協『あおぞら会館』

連絡先： TEL：06-6436-1724 FAX：06-4962-5920

URL <http://www.amagasaki.coop/>

【計画概要】

尼崎医療生活協同組合では、尼崎医療生協病院（199床、81年開設、95年改築、60床増床）の老朽化に伴い、隣接地への病院の新築移転と旧病院の施設を活用して新たに介護老人保健施設建設（95床）を行う計画を、1995年の臨時総代会で決定しました。

計画の特徴は、この大規模建設事業を、尼崎市における保健・医療・福祉の事業ネットワークづくりと併せて、医療生協組合員の地域の助け合いや健康づくりの活動と結びつけることによって、住みよさ日本一の尼崎に挑戦するまちづくり型の建設運動として位置づけたことです。

【計画を進めるなかで苦心した点】

23 の事業所と、26 の医療生協の支部が地域毎に力を合わせて、まちづくりの方針を持ち、計画を支える出資金運動に取り組みました。3年間で特養施設の1億円の寄付運動を皮切りに、8億円近くの出資金を集めました。

3年間という長期にわたる運動で大きな力を発揮したのが、医療生協組合員による毎月の積み立て増資と集金活動です。これは単なる集金活動の枠を超えて、組合員同士の絆を強め、生協組織の質的発展につながりました。できあがった施設とともに医療生協の大きな財産です。



エントランス



ユニット

【今後の事業展望及び機構資金を利用する上でのアドバイス】

新病院は個室率38%、産婦人科病棟は20床全室個室、緩和ケア病棟20床も全室個室で1部屋あたり面積は20㎡。特徴はこれらの個室を、差額ベッド料金をいただくずに運用させていただいていることです。いのちの平等という当医療生協の理念を、地域の組合員のみなさんの運動に支えられながら実現しています。

この事業の資金調達では、独立行政法人福祉医療機構様に変にお世話になりました。計画決定時の年間収益規模に匹敵する事業規模であり、特養、新病院、老健施設とも機構融資無しには成立しないものでした。高齢化の進行の中、今後は医療・介護の複合的な施設展開が必要となるケースも増えてくると思います。医療生協という特殊性はあろうかと思いますが、公的融資に依拠することと、自前での資金調達が、建設を成功させた要因ではないかと考えています。